

実戦を「完遂」し続ける職務



警務官を前に式辞する第三十代警務隊長 相澤将補(6月15日市ヶ谷防衛省講堂)

相澤隊長は式辞で、警務隊の歴史や安全保障環境の変化、犯罪の多様化など警務隊を取り巻く環境の厳しさに触れた後、「警務職務の遂行は我々の誇りである反面、訓練の場では許される「失敗」が絶対に許されないという宿命を帯びている。

即ち警務隊は、警務職務という実戦を『完遂』し続けることよってのみ存在理由が認められる」と警務官の役割を再認識させるとともに、現在警務隊が進んでいる方向性について述べ、隊員の一層の努力と関係者の支援を求めた。

参加隊員は警務隊副隊長宮本一佐の指揮のもと、緊張感を漂わせながらも一糸乱れぬ行動をとり、警務隊の士気の高さを来賓の目に焼き付けた。

警務隊(隊長・相澤傑陸将補)の創隊60周年記念式典が6月15日、防衛省講堂で開催された。この式典には、警務隊本部をはじめ全国各方面警務隊、中央警務隊の約190人と、来賓として陸幕警務管理官、警務隊OB団体の

「全国警親会連合会」会長ら計約200人が参加。厳かな雰囲気の中で節目の日を祝った。また式典に先立ち、梶木壽防衛監察監による「我が国の治安と刑事司法」と題する記念講演と、警務隊長による警務点検が行われた。

陸上自衛隊警務隊 創隊60周年を厳かに祝う

記念事業

警務隊は記念事業として、節目の年を迎えた全隊員の思いを表す「キャッチコピー」と「ロゴマーク」を部内公募。最優秀作品には宇野和夫2曹(中方警・130地区警務隊)のキャッチコピー『熱き60年 引き継ごう、その心と技、渡そう、未来の警務官へ』と宇佐美仁成1曹(同)のロゴマークが選ばれた。

キャッチコピー

「熱き60年
引き継ごう、
その心と技、
渡そう、
未来の警務官へ」

ロゴマーク



司法警察職務 開始60年

本式典は、1953年6月15日、司法警察職務を開始してから60周年を迎えたことを祝い、行われたものである。

この間の主要結節としては、00年3月、警務隊本部の芝浦から市ヶ谷への移駐、08年3月の警務科職種の捜査部隊と保安部隊の二元化、11年4月、陸・海・空自の警務官で構成する中央警務隊の新編がある。

また、警務隊は国外任務として92年9月以降カンプジア、ルワンダ、東チモール、イラクなどから、現在の南スーダンまで警務派遣隊又は警務班を派遣している。



講演を行う梶木防衛監察監



【上写真は警務点検の状況】警務手帳の点検を受ける各警務官

警務点検は、警務隊員の職務遂行に必要な姿勢・態度、装具等の着用及び諸動作の適否について点検するとともに、厳正な規律と強固な団結心を養うことを目的として実施される。

点検項目には警務手帳、手錠、警笛、個人装備火器がある。



第一列には警務隊長を中央に現職・OBの来賓が並び、約190人の隊員とともに創隊60周年を祝った